

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1282 2024/04/11 (Thu)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

ビキニ被災から70年

「全国高校生平和集会」初めて静岡で開催！



ビキニ核被災から70年。ビキニ諸島で水爆実験が行われたこと、焼津の第五福竜丸だけでなく高知など1000隻以上が被ばくし、マーシャル諸島をはじめ世界の様々な地域で今もなお苦しんでいる方々がいることを知らない人が増えています。そこで、この問題をあらためて自分の問題として考えていこうと3月27日(水)～28日(木)、静岡県の焼津ではじめて「全国高校生平和集会」が開催されました。

74名の中高校生が集い、考え行動した・・・

「原水爆による被害者は、私を最後にしてほしい」(久保山 愛吉さん)

埼玉、東京、愛知、広島、沖縄、そして地元静岡から、合わせて74名の中・高校生が集まりました。一日目は、まず焼津市歴史民俗資料館を見学しました。そこには今乗組員で被ばくの影響で亡くなった久保山愛吉さん



が家族に宛てた手紙や第五福竜丸の模型などが展示されており、職員のかたから当時の様子などを資料でふり返りながら説明を受けました。



※ 当時、全国からとりわけ子どもたちから、久保山さんに宛てた3000通超えの励ましが届いた。その後、久保山愛吉さんと妻のすずさんが眠っているお墓を訪れました。その夜は、地元の高中生が二人に関する朗読劇を発表したり、各県から参加した高校生たちが日ごろ活動していることを報告したりして交流しました。二日目は、県内外の原爆被爆者の検診やビキニ被災船員の調査などを

してきた医師、聞間元さんなど5人の方から話を聞き、意見交流をしました。広島から参加した高校生のひとりには、「広島や長崎の原爆被害は学びますが、ビキニ事件のことはよく知りませんでした。放射能を含む白い灰により、内部被ばくすることを知りました。核兵器はなくさなくてはいけない」と感想を述べました。8月5日には、広島で57回目の「全国高校生平和集会」を開催します。これからも各地に高校生平和ゼミナールをつくり、活動の輪を広げていきたいと思っています。(望月照巳)

文壇

▼全県からの支援を受けて、闘った福山市議選の結果は、残念ながら、全国で繰り返されている次点で一人取りこぼす結果となった▼「勢力が少なくなっても、力を集中して補いながら闘えば、まだまだ捨てたものじゃない」ことが証明できなかった▼しかし、この結果をどのように分析し、どのような教訓を汲みだせるかが今とても大切なことだと思われる▼厳しい苦しい分析になるにしても、それを避けては一步も前に進めないのだろう。そして、前回も同じような展開で、最後の一人と次点で一人減の厳しい結果だったという事は、前回の結果分析が、不十分あるいは、間違っていたと言えるのではない▼筆者の属していた選挙チームも、支持約束を積み上げて行くことと、音の宣伝で名簿数の限界をカバリーしようとした▼六千を超える支持約束と二千三百の得票票をどう分析するか。読者数との関係はどうか。日頃の候補者活動に改善点(弱点)はないのか▼科学を標榜する集団の、知的力量が試される。